

## 国内の小児の新型コロナウイルス感染症 第2弾 ～10代の味覚嗅覚異常の頻度は17%～

今回も、国内の新型コロナウイルス感染症の小児例を集計した文献から報告します。5月30日までにインターネット上に掲載された635例のデータをまとめたものです。10歳未満と10代に分けて検討されています。左下の表が症状の記載があった395例の臨床症状です。

臨床症状	10歳未満	10代
無症状	39%	31%
発熱	43%	37%
咳嗽	19%	18%
嘔吐・下痢	4%	7%
味覚嗅覚異常	2%	17%

無症状で経過するケースが30～40%あります。咳をするケースは意外と少なく、消化器症状もあまりありませんでした。味覚嗅覚異常が10歳代で17%あり、年長児ではコロナを疑う特異的な所見と考えられます。ほとんどが軽症で重症例は2例のみという結果でした。



### <子どもの病気 Q&A ③>

Q 熱がでました。  
受診のタイミングを教えてください。



- A. 次のようなときは病院を受診しましょう。
- ①生後3ヶ月未満の児の発熱
  - ②機嫌が悪く泣き止まない、食事や水分がとれない
  - ③お母さんが「いつもと違う」と感じたとき

\*解熱剤は飲み薬か？座薬か？  
効き目は同じです。子どもの解熱剤は主にアセトアミノフェンを使います。

\*生後3ヶ月未満の赤ちゃんは、解熱剤を使用すること自体がリスクを伴う場合があります。このころの赤ちゃんは解熱剤を使用しないようにしましょう。

### 6月の感染症情報

アデノウイルス感染症、溶連菌感染症、突発性発疹症などの感染症が散発的にみられました。

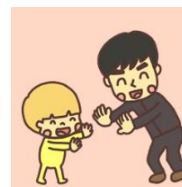
### ～親子で遊ぼう～

#### ～④ ハイタッチ～

子どもと目の高さを合わせ、目より高い位置でハイタッチ！

「何かができた時」「うれしい時」そんなときはハイタッチをしてみましょう。言葉だけよりも、安心感や心地よさがまし、親子の距離がぐっと縮まりますよ。

今日から始めてみませんか？



### 6月のご利用状況

6月の利用延べ人数は47名、一日平均利用人数は2.1人でした。年齢別では、1歳児が23人(49%)で最も多く、次いで2歳児の11名(23%)、0歳児の10名(21%)の順でした。疾患としては、急性上気道炎が30人と最も多く、それ以外には感染症情報でも述べたアデノウイルス感染症、突発性発疹症がありました。急性上気道炎の一部にはエンテロウイルスによる夏風邪が混じっているものと思われます。新型コロナウイルス感染症対策としてのマスク着用ですが、主な目的は症状のある人が周りの人にうつさないようにするためです。不必要なマスク着用により熱中症にならないように注意しましょう。